

令和6年度 学校評価に係る教職員アンケート結果

〈回答数（回答率）〉：68名（79%）

〈評価基準〉 A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない ?：わからない (%)

1	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校教育目標や学校経営方針等を踏まえ、具現化するという意識を持って教育活動に当たっている。	幼・小学部	13.6	86.4	0	0	0
中学部		21.4	78.6	0	0	0	
AとBの合計が約96%であり、全体的に意識が高いと判断される。	高等部	53.8	38.5	7.7	0	0	
	訪問部	6.3	87.5	6.3	0	0	
	事務職員・看護師	33.3	33.3	33.3	0	0	
	全体	21.4	74.3	4.3	0	0	
2	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	児童生徒の障がいの状態や発達段階を踏まえ、将来の生活を見据えた教育課程が編成、実施されている。	幼・小学部	36.4	63.6	0	0	0
中学部		35.7	64.3	0	0	0	
AとBの合計が約96%であり、適切であると評価されている。	高等部	46.2	46.2	7.7	0	0	
	訪問部	31.3	68.8	0	0	0	
	事務職員・看護師	66.7	0	0	0	33.3	
	全体	37.1	58.6	2.9	0	1.4	
3	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	児童生徒の人権や人格を尊重した指導を行っている。（呼称・態度・言葉遣いなど）	幼・小学部	54.5	40.9	4.5	0	0
中学部		64.3	35.7	0	0	0	
AとBの合計が約94%であり、適切に実施していると評価されている。	高等部	38.5	53.8	7.7	0	0	
	訪問部	43.8	50	6.3	0	0	
	事務職員・看護師	33.3	33.3	0	0	33.3	
	全体	50	44.3	4.3	0	1.4	
4	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	児童生徒が自分の意思を表現したり伝えたり、また、選択したり決定したりできる指導や場面の工夫を行っている。	幼・小学部	68.2	27.3	4.5	0	0
中学部		64.3	35.7	0	0	0	
AとBの合計が約94%であり、適切に実施していると評価されている。	高等部	84.6	15.4	0	0	0	
	訪問部	43.8	56.3	0	0	0	
	事務職員・看護師	66.7	0	0	0	33.3	
	全体	62.9	31.4	4.3	0	1.4	
5	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	児童生徒の障がいの状態や課題に即したICTの活用を行っている。（タブレット端末、パソコン、視線入力、オンライン会議システム等の活用）	幼・小学部	28.6	61.9	9.5	0	0
中学部		21.4	78.6	0	0	0	
AとBの合計が約87%であり、適切に実施していると評価されている。 高等部ではCが約14%であり、ばらつきが見られる。	高等部	27.3	59.1	13.6	0	0	
	訪問部	43.8	50	6.3	0	0	
	事務職員・看護師	66.7	0	0	0	33.3	
	全体	31.4	55.7	11.4	0	1.4	

6	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	効率的、効果的な指導体制が組まれるとともに、授業準備や学級事務などの時間が確保されている。	幼・小学部	0	50	45.5	4.5	0
中学部		7.1	42.9	28.6	21.4	0	
高等部		15.4	76.9	7.7	0	0	
訪問部		0	68.8	25	6.3	0	
事務職員・看護師		33.3	33.3	33.3	0	0	
AとBの合計が約61%である。 CとDの合計が約39%であり、改善が必要と考える職員も少なくない。 各学部の指導体制に係る状況を踏まえ、具体的に改善できる部分があれば改善を図っていく。		全体	5.7	55.7	31.4	7.1	0
7	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	個別の指導計画は、児童生徒の実態や課題を踏まえ、短期的視点から指導目標や指導内容、及び手立てを具体化している。	幼・小学部	27.3	54.5	13.6	0	4.5
中学部		14.3	71.4	0	0	14.3	
高等部		23.1	61.5	15.4	0	0	
訪問部		0	87.5	12.5	0	0	
事務職員・看護師		33.3	33.3	33.3	0	0	
AとBの合計が約81%であり、適切に実施していると評価されている。 Cが約13%であり、改善が必要と考える職員も一定数見られる。		全体	17.1	64.3	12.9	0	5.7
8	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	通知票は、学習の成果（目標到達度）や成長の様子などをわかりやすく書いている。	幼・小学部	36.4	50	9.1	0	4.5
中学部		21.4	50	7.1	0	21.4	
高等部		46.2	53.8	0	0	0	
訪問部		6.3	87.5	6.3	0	0	
事務職員・看護師		0	0	0	0	100	
AとBの合計が約83%であり、適切に実施されていると判断される。		全体	25.7	57.1	7.1	0	10
9	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学部主事やコーディネーターを中心として、校内支援や外部連携が適切に行われている。	幼・小学部	45.5	54.5	0	0	0
中学部		42.9	57.1	0	0	0	
高等部		69.2	30.8	0	0	0	
訪問部		25	56.3	6.3	6.3	6.3	
事務職員・看護師		66.7	0	0	0	33.3	
AとBの合計が約94%であり、適切に実施していると評価されている。		全体	45.7	48.6	1.4	1.4	2.9
10	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校ホームページや学校だより、学級通信等で、児童生徒の様子や学校の教育活動を積極的に伝えている。	幼・小学部	40.9	54.5	0	0	4.5
中学部		28.6	71.4	0	0	0	
高等部		53.8	46.2	0	0	0	
訪問部		31.3	62.5	6.3	0	0	
事務職員・看護師		66.7	33.3	0	0	0	
AとBの合計が約96%であり、適切に実施していると評価されている。		全体	38.6	57.1	2.9	0	1.4
11	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	保護者に対して授業や行事を参観する機会を十分に設けている。	幼・小学部	59.1	36.4	4.5	0	0
中学部		35.7	64.3	0	0	0	
高等部		76.9	23.1	0	0	0	
訪問部		50	43.8	6.3	0	0	
事務職員・看護師		100	0	0	0	0	
AとBの合計が約97%であり、適切に実施していると評価されている。		全体	55.7	41.4	2.9	0	0

12	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	P T A 活動は、保護者と教職員が協力し、工夫した活動が行われている。 (茶話会、広報紙の作成、P T A 研修会、ベルマーク、再生資源回収など)	幼・小学部	50	40.9	4.5	0	4.5
A と B の合計が約 8 7 % であり、適切に実施されていると判断される。		中学部	35.7	57.1	0	0	7.1
		高等部	46.2	38.5	7.7	0	7.7
		訪問部	37.5	37.5	6.3	6.3	12.5
		事務職員・看護師	100	0	0	0	0
		全体	45.7	41.4	4.3	1.4	7.1
13	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	保護者が見通しを持って進路選択ができるよう、必要な情報を提供しながら 進路指導を行っている。(進路だよりの発行、進路説明会、個別対応など)	幼・小学部	36.4	59.1	0	0	4.5
A と B の合計が約 9 4 % であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	28.6	71.4	0	0	0
		高等部	69.2	30.8	0	0	0
		訪問部	31.3	56.3	0	0	12.5
		事務職員・看護師	66.7	0	0	0	33.3
		全体	40	54.3	0	0	5.7
14	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	児童生徒の健康や指導上の問題(事故・ケガ等)が起きたときに、保護者や 関係機関(療育センター、療育園等)に素早く状況を伝え、学部主事や管理 職と連携して対応している。	幼・小学部	59.1	40.9	0	0	0
A と B の合計が約 9 9 % であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	71.4	28.6	0	0	0
		高等部	76.9	23.1	0	0	0
		訪問部	43.8	50	0	0	6.3
		事務職員・看護師	66.7	33.3	0	0	0
		全体	62.9	35.7	0	0	1.4
15	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	災害や事故などに適切に対処できるように、必要な訓練を行うとともに、非 常時における教職員の役割分担が明確になっている。	幼・小学部	18.2	77.3	4.5	0	0
A と B の合計が約 9 7 % であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	28.6	71.4	0	0	0
		高等部	61.5	38.5	0	0	0
		訪問部	50	50	0	0	0
		事務職員・看護師	66.7	0	0	33.3	0
		全体	37.1	60	1.4	1.4	0
16	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	保護者や医療機関と連携して適切に医療的ケアを実施している。	幼・小学部	77.3	22.7	0	0	0
A と B の合計が約 9 4 % であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	78.6	14.3	0	0	7.1
		高等部	76.9	23.1	0	0	0
		訪問部	68.8	18.8	0	0	12.5
		事務職員・看護師	66.7	0	0	0	33.3
		全体	75.7	18.6	0	0	5.7
17	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	教室や廊下及び職員室など、校内は整理整頓されている。	幼・小学部	18.2	68.2	13.6	0	0
A と B の合計が約 8 4 % であり、適切に実施されているが、改善が必要と考える 評価も一定数見られる。		中学部	21.4	78.6	0	0	0
		高等部	38.5	46.2	15.4	0	0
		訪問部	18.8	50	25	6.3	0
		事務職員・看護師	0	100	0	0	0
		全体	21.4	62.9	14.3	1.4	0

18	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	校内研究は、研究の目的や方法が適切であり、教職員の専門性の向上や授業改善に結びついている。	幼・小学部	13.6	68.2	18.2	0	0
AとBの合計が70%であり、概ね適切に実施していると評価されている。 CとDの合計が約25あり、改善の余地があるとする評価も一定数見られる。		中学部	7.1	71.4	14.3	0	7.1
		高等部	30.8	23.1	38.5	7.7	0
		訪問部	6.3	62.5	25	6.3	0
		事務職員・看護師	33.3	0	0	0	66.7
		全体	14.3	55.7	22.9	2.9	4.3
19	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	事務職員は、事務手続きの説明や相談に適切に応じている。	幼・小学部	68.2	27.3	4.5	0	0
AとBの合計が約99%であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	64.3	35.7	0	0	0
		高等部	61.5	38.5	0	0	0
		訪問部	87.5	12.5	0	0	0
		事務職員・看護師	66.7	33.3	0	0	0
		全体	70	28.6	1.4	0	0
20	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	各部署（学部、学年、分掌等）及び部署間で、適切に業務分担や協働が行われ、効率的、機動的に業務を推進している。	幼・小学部	9.1	59.1	27.3	0	4.5
AとBの合計が79パーセントであり、概ね適切に実施していると評価されている。 幼・小学部ではCが27%であり、改善の余地があるとする評価も一定数見られる。		中学部	7.1	85.7	7.1	0	0
		高等部	15.4	69.2	7.7	7.7	0
		訪問部	18.8	68.8	6.3	6.3	0
		事務職員・看護師	40	20	20	20	0
		全体	14.7	64.7	14.7	4.4	1.5
21	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校と関係機関（療育センター、療育園など）は、適切な情報共有と連携が図られている。	幼・小学部	18.2	68.2	13.6	0	0
AとBの合計が80%であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	7.1	42.9	35.7	0	14.3
		高等部	30.8	46.2	23.1	0	0
		訪問部	43.8	56.3	0	0	0
		事務職員・看護師	33.3	33.3	33.3	0	0
		全体	25.7	54.3	15.7	0	4.3
22	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	会議の効率化や業務の能率化を図り、勤務時間を意識して業務に取り組んでいる。	幼・小学部	0	77.3	18.2	4.5	0
AとBの合計が約76%であり、概ね適切に実施していると評価されている。教務ではCが一定数あり、会議や業務の効率化及び勤務時間を意識した働き方に努めていく。		中学部	0	57.1	28.6	7.1	7.1
		高等部	46.2	38.5	15.4	0	0
		訪問部	37.5	43.8	18.8	0	0
		事務職員・看護師	33.3	66.7	0	0	0
		全体	18.6	57.1	20	2.9	1.4
23	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、地域（町内会、小中学校等）と連携した教育活動を行っている。（ゲストティチャー、交流及び共同学習、町内活動への参加など）	幼・小学部	18.2	63.6	13.6	4.5	0
AとBの合計が87%以上であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	21.4	71.4	0	0	7.1
		高等部	38.5	53.8	7.7	0	0
		訪問部	37.5	50	0	0	12.5
		事務職員・看護師	66.7	0	0	0	33.3
		全体	28.6	58.6	5.7	1.4	5.7

評価項目		学部等	A	B	C	D	?
24	教育公務員としての自覚を常に持ち、体罰の防止や個人情報の保護及び交通違反やハラスメントなどの事故防止に努めている。	幼・小学部	72.7	27.3	0	0	0
		中学部	71.4	14.3	14.3	0	0
AとBの合計が94%以上となっており、適切に実施していると評価されている。 CやDの評価も見られるため、今後も教育公務員としての自覚と責任ある言動を心掛けていく。		高等部	53.8	46.2	0	0	0
		訪問部	56.3	31.3	6.3	6.3	0
		事務職員・看護師	66.7	33.3	0	0	0
		全体	65.7	28.6	4.3	1.4	0

【総括】

- ・全体的に高い評価結果となった。
- ・?を除いてA評価とB評価の結果が80%以上の項目が全24項目中、20項目である。
- ・項目6（指導体制・時間確保）、項目18（校内研究）、項目20（業務分担・協働）、項目22（業務等の能率化）では、下位評価が比較的多い。
- ・項目6、20、22については、教員の働き方改革の趣旨を踏まえ、指導体制、業務や会議の進め方等について、本校のこれまでのやり方やルールに縛られない見直しを進めていく。